

補償問題の解決へ

きよう再び委員会開く

水俣漁協の補償問題を解決にみちびこうとする中村市長、石原同助役らあっせん委九人は二十二日朝市役所で新日窒水俣工場側西田工場長らの意向を聞いたのち午後は再び同市大團の割はう「満寿美」で同問題について協議した。

その結果、同漁協組合側は差迫った状態にあり早急な補償を望んでおり、二十三午午後一時半から市役所で同漁協代表もまじえ再び委

員会を開き一日も早く解決の道を見出すべく努力することになった。